

# 父親支援のためのシンポ

## 子育てサポート実践者の話から学ぶ

子育てサポートセンター主催の県子育て支援指導者研修会「岩手の父親支援のためのシンポジウム」が28日、



講演する前川さん

るような信頼関係の積み重ねの大切さを実感した。この団体が、そんな存在となればと思っ

盛岡市盛岡駅西通のアイーナで行われた。男性の子育ての支援に取り組む人々を対象に県内外の実践者が事例報告や知見などを報告。子育て支援に携わる人など70人が参加し、父親支援の在り方を考えた。

宮古市の読み聞かせ集団「おどっつあんS」の前川克寿代表や埼玉県のNPO法人新座子育てネットワークの坂本純子代表理事ら5人が講演。東日本大震災津波後に実施してきた支援活動について事例

報告をしたあと、意見交換会も実施した。前川代表は団体の設立経緯や活動内容、活動を通して実感したことなどを話した。同集団は2008年3月に宮古市の浄土ヶ浜の感謝祭をきっかけに結成。県沿岸地方の方言で「お父さん」を指す言葉の名前に使った。

定期的な読み聞かせ活動をしていたが、震災後は被災地支援のために幅広い活動を実施。避難所や仮設保育所で読み聞かせを行うほか、全国から発送さ

れた絵本を受け入れ、配布する事業や保育所などを対象に本棚作りも行った。「被災した場所は水に流されて何もなくなってしまう。われわれは最初、保育所に本を配って歩いたが、その本を収納する棚がないことに気が付いた。活動を通して、地域の復興に貢献できたと思う。震災後の無力感から回復する助けになった」と活動を振り返る。

「震災時に改めて感じた助け合いの心。普段から、その心を育て